



平成 27 年 9 月 1 日 現在

総人口	12,555人
男	6,116人
女	6,439人
世帯数	5,086世帯

「備えあれば憂いなし」

# 災害時地域で取り組む助け合い

9月には防災月間です。いざという時に備えて、地域や個人で出来ることを考え、行動しませんか。それが自助・それが共助・それが公助です。

「山梨県立防災安全センターの防災研修に参加して」

7月29日、防災研修の一環として、山梨県立防災安全センター施設見学の研修会が、町会長や町内公民



館長など三十余名の役員が参加して行われました。

このセンターには、地震体験施設や消防OB、災害ボランティアを経験した職員がおり、講話では、災害現場の厳しさや、体験された方ならではの実務的なお話しを聞きました。

また参加者は、地震、消火、煙の体験をしました。講話は、「まずは自分が備

えるところから」と「いざ」という時の行動や身近な生活用品を工夫して、災害に備えることから始まり、共助は協

助で、日頃から地域で助け合い災害に強い地域を目指していくことが大切であると話されました。

次に体験。消火は本物の消火器で体験しました。火をつけ、炎が高く燃え上がる中に、①②③勢いよく出るピンクのアワ!

地震体験では、震度6の揺れを体験し、その時どう安全に身を置いたか、でした。机の下にもぐって座る時に、女性に多い正座は危ないのでアラでとの話しもありました。

そして煙の中をどう避難するかの煙体験。大きな袋に空気をいれ頭にかぶせて逃げる方法も学びました。

こうした体験を通して、災害に向き合える心構えができていくと感じました。

防災に向き合う力強さと、地域に求められる防災のあり方に、一石を投じてくれた研修会であったと思います。

新橋町会の防災訓練は、地域の皆さんのご協力をいただき9月27日に実施し、今年完成した防災無線を使用して呼びかけます。

今回の研修体験を今後の地

## 福祉ひろば 20周年記念式典

島内地区福祉ひろば開館20周年記念式典が、9月18日に島内公民館で開催されました。

式典では、これまで福祉ひろばを支えてきた方々や事業にご尽力ご協力いただいた皆様が集まり、スポーツインストラクターの寺平美樹先生の講演やスライドを見ながらの茶話会を通して、これまでの歩みを振り返るとともに、今後の取り組みについて考えました。

域にいかせる実践に移していきたいと考えています。

新橋町会長 川船 昌子



ウッドタウン小宮町会の訓練の様子

9月12日に島内地区福祉ひろば、島内公民館、島内図書館、島内児童センターの共催で開催した「お話し会とうどん作り」の様子



## 島内灯籠まつり



初出演の「ひよこランドコーラス」の親子たち

# 認知症サポーター養成講座のご紹介

シリーズ「認知症を理解していただくために」、今回は「認知症サポーター養成講座」についてご紹介します。

「尊敬をもって最後まで自分らしくありたい」という願いを誰もが持っています。この願いをはばむのが「認知症」で、85歳以上では、4人に1人は認知症状態があると言われています。

## 認知症とは? Vol.2

認知症についての正しい知識を持って、認知症の人や家族を支える手立てを知っていれば、「尊敬ある暮らし」をみんなで守ることが出来ます。

河西部地域包括支援センターでは、身近な地域での「認知症サポーター養成講座」の開催を呼びかけています。講座の概要はつぎのとおりです。

### ①講座の内容は?

どのような病気なのか、症状としてはどんなふうに出てくるか、家族や周囲の方はいかに、治療や予防についてなど、手先の運動や寸劇なども交えてわかりやすくお話しします。

### ②講座の時間はどれ位?

90分位ですが、60分程度に短縮もできます。

### ③開催場所は?

依頼があればどちらでも伺います。

### ④講師は?

包括支援センターの職員などが講師を務めます。

### ⑤費用は?

無料です。

### ⑥講習は何人位から?

5人位から可能です。今、島内地区では、4人が1人が65歳以上の高齢者になっています。また高齢者夫婦の世帯や一人暮らしの世帯も増えてきています。

そして、今後さらに少子高齢化が進むことが予想され、誰がいつ認知症になってもおかしくない時代です。

認知症サポーターと言っても特別なことをする訳ではありません。温かく見守る応援者になっていただければよいのです。

サポーター養成講座の開催など、お気軽に河西部地域包括支援センター(電話481-6361)へご相談ください。サポーター養成講座を受けて、認知症を正しく理解し支えあえる地域づくりをしていきましょう。



## 平成27年度 夏休み小学生講座

島内公民館では、7月28日、8月11日の2日に分け、夏休み小学生講座を開催しました。この講座は、普段の学校生活では出来ない様々な体験や異年齢集団生活をおし、子どもたちに充実した夏休みを過ごしてもらおうと毎年同時期に企画しています。本年度は、御代田町の「浅間縄文ミュージアム」へ行き、「勾玉づくり体験」や「縄文土器」等の見学をしました。参加人数は、両日合わせて90人となり、元気いっぱいな子どもたちということもあり、往復のバスの中は大変な賑わいでした。体験講座では、どの子も真剣に取り組む姿勢が

## 子供達の感想文

●とてもたのしかったです。またいきたいです。(小学校1年生)  
●まがたまづくりがたのしかったです。おみやげもかえてよかったです。いろいろなものもみれてすこたのしかったです。(小学校2年生)  
●カレーはおいしかったです。まが玉作りは楽しかったのですが、またお母さんときてみたいです。(小学校3年生)  
●じょうもん時だいの家でのくらしのことや村の土きのこと、あさま山のことかしてよかったです。いちばん心のこったことは、あさま山のふんかですんでしまった人の事でした。(小学校4年生)  
●浅間ミュージアムの図書館で本をいっぱい読めたし、博物館でいっぱいかせきとか昔の人や家を見れたのでよかったです。(小学校5年生)

●まが玉のまがついてるところをけするのがむずかしかったです。つるつるにできてよかったです。(小学校5年生)  
●今回は班長で少し心配だったけれど、しっかりできて良かったです。縄文ミュージアムでは、土器など実さいに見ることができてとても楽しかったです。今年で最後なのが少しさみしいくらいです。(小学校6年生)

## スポーツ大会の結果

- ☆夏季スポーツ大会(8月23日)
- 【野球の部】
  - 優勝 町
  - 準優勝 北方
  - 第3位 島高松
- 【ソフトバレーの部】
  - 優勝 青島
  - 準優勝 北方
  - 第3位 高松

島内公民館キッズ「ピアッサ」の予定

松島中学校生徒作品展  
10月5日~10月23日

公民館利用サークル写真展  
10月26日~11月13日